

令和 7 年度指定管理者事業報告

(令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日まで)

1 施設運營業務の実施状況及び利用状況

(1) 施設管理

京都市景観・まちづくりセンターの管理を行う。 ※ () は前年度

ア 京都市景観・まちづくりセンター

・年間来場者数 50,422 人 (54,471 人)

イ 京のまちかど展示コーナー

京都のまちづくりに関する情報提供を行う展示コーナー

・年間来場者数 30,058 人 (31,529 人)

ウ ワークショップルーム

景観・まちづくり大学をはじめとするセンター主催事業、共催事業等に活用

・稼働回数 660 回 (540 回)

※令和 7 年 4 月 1 日から令和 7 年 6 月 30 日は 2 室 (WS R 1、2)

令和 7 年 7 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日は 3 室 (WS R 1、2、3)

エ まちづくり工房

景観・まちづくり活動に関する作業スペースとして活用

・稼働回数 24 回 (114 回)

※令和 7 年 4 月 1 日から令和 7 年 6 月 30 日まで

令和 7 年 7 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日は WS R 3 として使用

オ 図書コーナー

図書の閲覧及び貸出の実施

(a) 令和 8 年 3 月末現在所蔵資料数 17,908 点 (17,961 点)

(内訳) 一般資料 14,183 点 (14,328 点)

郷土資料 1,295 点 (1,250 点)

行政資料 1,028 点 (1,030 点)

視聴覚資料 306 点 (306 点)

雑誌 497 点 (455 点)

地図・絵本等 599 点 (592 点)

(b) 利用者数 14,590 人 (15,235 人)

(c) 利用者カード新規発行数 121 枚 (148 枚)

(d) 利用者カード延べ発行数 4,608 枚 (4,487 枚)

(e) 図書等貸出数 2,608 冊 (2,525 冊)

カ 情報システムの活用による情報発信

(a) 施設ホームページアクセス件数 9,215 件 (6,671 件)

(b) 財団ホームページアクセス件数 68,733 件 (67,524 件)

(c) メールマガジン発行回数 15 回 (16 回)

- (d) メールマガジン購読登録者数 1,800 人 (1,793 人)
- (e) 公式フェイスブックページ投稿数 48 回 (66 回)
- キ 視察受入
・団体数／人数 17 団体／276 人
- ク 各種啓発冊子、技術資料等の販売、京町家キット等の販売
・冊子等：『京町家の再生』、『京町家物語』、『百人一首で京都を歩く』
・京町家キット等：組み立て式キット
- ケ The Base Mental Café の開催
・様々な分野の人と同士がつながり、新たな交流の輪を広げるカフェを毎月第 2 金曜日
(17:30～20:00) に開催
延べ来場者 約 500 人
- (2) 景観・まちづくり大学等の運営
以下のセミナー、ワークショップ等を実施した。
- ア 京のまちづくり史連続講座
京都のまちづくりの歴史を学ぶセミナー
・開催回数／受講人数 (延べ) 8 回開催 / 延べ 299 名受講
- イ 京のまちづくり史関連企画 まちあるき講座
・開催回数／受講人数 (延べ) 1 回開催 / 延べ 9 名受講
- ウ 京町家再生セミナー(※京町家再生事例見学会含む)
京町家の所有者、居住者を対象とした具体的な課題の解決に向けたセミナー
・開催回数／受講人数 (延べ) 8 回開催 / 延べ 196 名受講
- エ 地域まちづくりセミナー
・開催回数／受講人数 (延べ) 1 回開催 / 延べ 105 名受講
- オ 各種団体等との協働セミナー等
・景観エリアマネジメント講座
・文化財マネージャー育成講座

2 施設運営に係る経費の収支状況

収入		支出		差異
京都市委託料	46,200,000			
受講料収入	442,200	人件費	24,363,644	
		事業費	1,252,282	
		委託費	9,200,326	
		少額修繕費	357,460	
		その他	10,270,173	
合計	46,642,200	合計	45,443,885	1,198,315

3 アンケート等により把握した利用者の満足度やニーズの状況

(1) 利用者満足度の把握状況

- ア 意見・感想箱の設置
図書コーナーに記入用紙を設置
- イ アンケートの実施
セミナー、シンポジウム等開催時に次企画へ反映するためアンケートを実施
- ウ リクエスト図書の受付（通年）
図書コーナーのカウンターに予約・リクエストカードを設置

(2) 利用者満足度の把握結果

- ア 「景観・まちづくり大学」のアンケートでは、セミナーの内容やテーマについての要望をいただいた。
- イ 図書コーナーのアンケートでは、配架や運営について意見をいただいた。

(例) 京町家再生セミナーの感想：

「民家についての本が少ないので楽しませて頂けました。」「配布資料の字が小さく見えにくいです。」「京町家や空き家の改修や活用方法を知りたいです。」「京町家の維持メンテナンス方法を教えてほしいです。」

図書コーナーの意見・感想：

「ジャンルに特化していて魅力的でした。」「卒業論文で京町家を調べているので京町家の本がたくさんあり学びとなりました。」「京都の写真集で貸出しが出来ないものがあり残念でした。」「本を返却しやすい時間は閉館のため返却ポストを用意してほしい。」「照明がやや暗く感じます。」

(3) 意見等への主な対応状況

- ア 意見・感想としていただいたものについては、施設運営に活かせるよう努めている。
- イ アンケートでいただいたものについては、セミナーの企画や今後のイベントの企画に活かせるよう努めている。
- ウ 図書コーナーに寄せられた情報は、配架可能な図書については、蔵書として検討していく。

4 指定管理者による管理運営業務の自己評価

・令和7年7月から開所時間及び使用料金を変更した。

相談室、ワークショップルーム、交流サロン及び京のまちかど展示コーナー

（平日・土曜日）午前9時から午後9時までを午前9時から午後5時までに変更

図書コーナー

（平日・土曜日）午前10時から午後8時30分までを午前10時から午後5時までに変更

使用料金の変更

まちづくり工房をワークショップルーム 3 に位置付けるとともに、交流サロンの一部を独占して使用することを可能とした。

ワークショップルーム 3 250 円／時間

交流サロン 190 円／㎡・日

- ・各種セミナー等については、まちづくりの担い手育成を目指し、まちづくりに取り組むうえでの基礎的な知識等を習得する講座を実施した。町家の保全・再生では、実践を重視したカリキュラムを中心とし、京町家の継承等に係る基本的な課題解決と京町家の魅力の普及を図った。
- ・「関西文化の日」「第 29 回京都ミュージアムロード」に参加し、施設の情報発信に努めた結果、京のまちかどが広く周知をされた。
- ・上杉本の洛中洛外図屏風ギャラリートーク・パネルトークを開催し好評を得た。
- ・The Base Mental Café は、新たな交流の場となり好評を得た。
- ・毎年認証を受けている KES 環境マネジメント・システム・スタンダード(ステップ 1)に基づき、電力使用量及び事務用紙使用量の削減、建物周辺の清掃活動の参加に取り組んだ。電気使用量及び事務用紙使用量は前年度より減少した。
- ・ワークショップルームは景観・まちづくり大学をはじめとする主催、共催事業等での活用のほか、登録団体への貸出しを行っている。
- ・まちづくり交流サロンにおいて、京町家の構造などが分かる模型のほか、ミニチュアハウスと紙彩画の展示「着物づくりと京町家」を常設展示している。
- ・国内外の行政機関、大学等からの視察を受入れ、当財団の活動紹介等を行った。

以上